

魚梁瀬の山とともに奥まった
この山には、
基頭夏木は珍らしい緑の葉と
白い幹と遠く離れて美しい森の世界を見せてくれる。

魚梁瀬

鳥居山

湯桶とは湯茶と入れる木製の器。
この山で良質な木材が採り出されたため
器を作る木地師が住んでいた山に
由来する。
那賀町は木製の器を置く位置
邢賀川の上流(南)の中央部に
湯桶を代表する流域。

小枝とかきわけ進む

注) 恵吉森ピニコモドキと
那賀町南の分岐がある。

恵吉森
1423m

徳島県側人工林

ハ度山

シカならひと足跳びな
登りが感じられる。



中川林道

汗谷
甚吉森登山口

甚吉森
お化け林へ湯桶丸
1318mエキモト

平尾山

1:30~2:00

平尾山
お化け林へ湯桶丸
1318mエキモト

1:30~2:00

GPSで
歩くべき道を
しまつ。

平尾山
かわいい山
歩くなく
疲れたうら
歩くべき道を
しまつ。

馬路村へ木地師が来たのは近世
未だ村人とも交流がなかったところ。
木地師は「日本國中山御免」の
繪旨と侍ら、開所や春節を通じ
ケヤキ、トチノキ、サワラ、スリ等の生え
ている湯桶川に小屋と建て、「ハ合目
代(まき)」(次第)の特権を持つアーティ。
木地師は通常、4家族が一団と
なって4工行程と分担したりもした
といふ。

製品は家族から運ばれて、者が
走りに行き、帰りに歩き、食料
などを仕入れていた。
命旨では天皇のことばで、「木地師の
命令旨で古くは毎年平5年(1072年)の
朱雀天皇のものがあつた。
朱雀天皇東山系の最深部の一角に
木地師の墓がある。

木地師
に付いて
静かで
優しく見えた
一人で静かに山中と
歩きながら書籍(さく
く)を見えて
歩いても静く見えた
自分がこの風わりの
中で生がこれまで
生きてることを感じた。

(注)境界標を見失わないよう。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。